

感染症が発生したら

～集団発生時対応のポイント～こども編



磯子区役所 福祉保健課 健康づくり係

令和6年10月30日

- I 集団発生時の対応のポイント
- II 報告時の流れ
- III 各論
 - ① ノロウイルス
 - ② 麻疹
 - ③ 風疹
 - ④ 結核
 - ⑤ インフルエンザ・新型コロナ

I なぜ集団発生時の対応が必要なのか？

- ⚠ 病原体や感染経路の特性上、集団生活の中でまん延しやすい。また、保育園、高齢者施設、病院などは、重症化しやすい人の集団である。
- ⚠ いち早く、施設管理者が適切な対応を理解し、職員が適切に実行しなければ、感染がさらに拡大してしまう。
- ⚠ 調理従事者が感染したり、調理施設内が汚染させた場合、食中毒の発生につながりかねない。
- ⚠ 食品を介した感染（食中毒）が疑われる場合、食中毒調査対応を速やかに行う必要がある。

それ以上感染を拡げないために…

- 患者が感染した感染源をブロック
- 患者からの二次感染をブロック
- 患者と同時に感染しているかもしれない人、
又はすでに二次感染しているかもしれない人を
把握して、そこからの感染拡大をブロック
- 小さな集団からの感染規模拡大をブロック など

I 集団発生時の対応のポイント

II 報告時の流れ

III 各論

- ① ノロウイルス
- ② 麻疹
- ③ 風疹
- ④ 結核
- ⑤ インフルエンザ・新型コロナ

報告基準

厚生労働省 「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」

- 1 同一の感染症もしくは食中毒による又はそれらによると疑われる死亡者又は重篤患者が1週間に2名以上発生した場合
- 2 同一の感染症もしくは食中毒の患者又はそれらが疑われる者が10名以上又は全利用者の半数以上発生した場合
- 3 1及び2に該当しない場合であっても、通常の発生動向を上回る感染症等の発生が疑われ、特に施設長が報告を必要と認めた場合
- 4 感染症法に定める感染症（1～3類）及び麻しん・風しんについては1人でも発生及びその疑いのある場合

報告時様式

■ 幼稚園、保育園の場合

子ども家庭支援課へ連絡
「感染症等発生報告書」を
Eメール送信へ

健康づくり係にも
Eメール(C.C) 又はFAXを
お願いします。

感 染 症 等 発 生 報 告 書										初・再 第 号	
発 受 信 月 日		年 月 日 () 時 分									
病 名		施設・事業所名						在籍数	園 児	人	
		代表者名							職 員	人	
		TEL	—						計	人	
		住所	区								
発生月日		年 月 日 ()									
再報告日 (再報告の際に記入)		年 月 日 ()									
発 生 状 況	年齢児	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	職 員	計		
	在籍数										
	欠席数										
	患者数										
	症 状	1 発熱()℃ 4 咳 7 腹痛 2 頭痛 5 咽頭痛 8 嘔吐 3 倦怠感 6 下痢 ※具体的な症状									
備 考											
検 査 状 況	検査内容及び検 体										
	検体提出日	年 月 日 ()									
	決定月日	年 月 日 ()									
	検査結果										
保 護 者 対 応	日 時										
	日 時										
	日 時										
	日 時										
	日 時										
記者発表											

感染症が発生したら

【病欠】
新規発症者を記入

集計表 FAX送信先:市教委健康教育課(FAX 681-1456)・福祉保健センター

小学校	磯子	区
460	名	※主要な症状について数える

3月10日(火)

→新規発症者の推移をみることで、
感染がどのように広がったのかがわ
かります。

■学校の場合

① 教育委員会健康教育課に
連絡、「全校健康観察集計表」
メール送信

②健康づくり系にも
メール(C.C)を
お願いします。

それ以外の施設の場合
健康づくり系に直接電話を

→新規感染者の推移をみると、どのよう
に広がったのかがわかります。

【備考】

- ・きょうだい児の有無
 - ・キッズクラブなどの利用
 - ・学校内嘔吐
- など共通点や感染源となりそう
なことがあれば記入

→感染がどのように広
がったのかがわかりま
す。

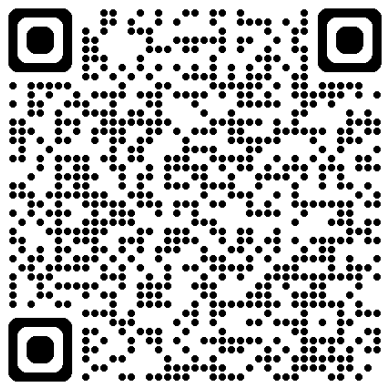
【調理従事者を除く教職員】
児童だけでなく、先生に体調不
良者がいないかも必ず確認

→体調不良時は上司に報告。
無理をすると感染を拡げてしまう可
能性があります。

調理従事者を除く教職員		0	0	0	0	0	0	0	0	0
小計	0	20	10	3	3	0	0	0	0	0
合計				26				0		

磯子区ホームページ 【施設向け】感染症の集団発生時の報告について

https://www.city.yokohama.lg.jp/isogo/kenko-iryo-fukushi/kenko_iryo/yobosesshu/shuudannhassei.html



【施設向け】感染症の集団発生時の報告について

横浜市磯子区

横浜市トップ | Language | 読み上げ | Google

防災・防犯 | 暮らし・手続き | 子育て・教育 | **健康・医療・福祉** | 窓口・施設 | 区の紹介

現在位置 [横浜市トップページ](#) > [磯子区トップページ](#) > [健康・医療・福祉](#) > [健康・医療](#) > [予防接種・感染症](#) > [【施設向け】感染症の集団発生時の報告について](#)

【施設向け】感染症の集団発生時の報告について

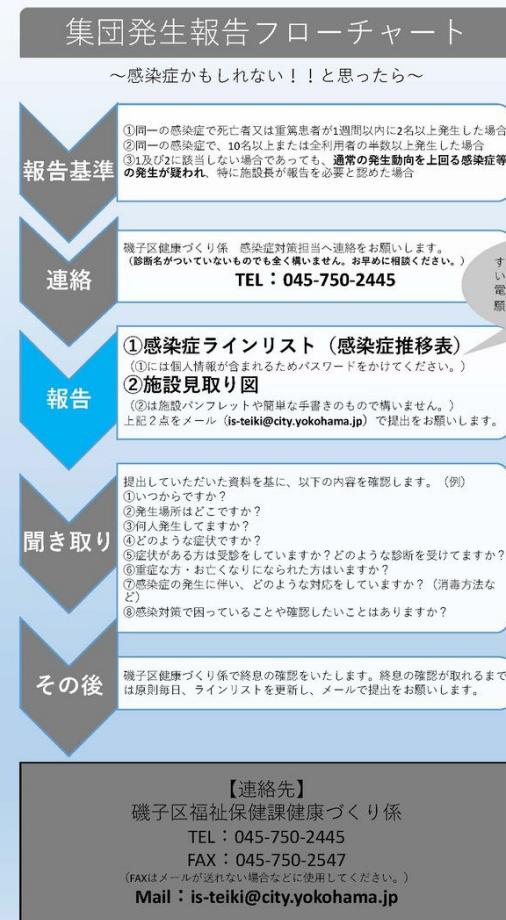
施設などで感染症の集団感染が発生した場合には、診断を確定し、適切な治療を行うとともに、感染経路を調べ、感染拡大を防ぐ必要があります。十分に留意するとともに、感染症の発生があった場合は、ページ下の[報告先](#)をご確認の上、報告様式により報告をお願いします。

1. 発生時のフローチャート

集団発生報告フローチャート

～感染症かもしれない！！と思ったら～

- ①同一の感染症で死亡者又は重篤患者が1週間以内に2名以上発生した場合
- ②同一の感染症で、10名以上または全利用者の半数以上発生した場合



区福祉保健センターとの連携

感染症が発生したら・・・

- ☐施設の図面
- ☐座席表
- ☐イベント一覧
- ☐献立表
- ☐推移表

感染拡大を防ぐためにどのように考え、対策を取っていくのかを区福祉保健センターと一緒に検討

メールまたはFAX・調査訪問時、御対応お願いします。

最初の電話で確認すること

■施設の概要

- ①利用人数、園児・児童・生徒数とその内訳、職員数など
- ②職員の勤務体系など

■発生状況

- ①発症時期 ②主な症状 ③発症者数 ④発症場所（発生した部屋など）

■発症者の病状など

- ①発症者の症状（嘔吐、吐き気、下痢、発熱など）
- ②受診状況（受診日時、診断名、治療内容）、重症者の有無

■発症3日前くらいからのエピソードの有無

→イベント等の行事、食事関連のエピソード 等

■施設での対応状況

I 集団発生時の対応のポイント

II 報告時の流れ

III 各論

① ノロウイルス

② 麻疹

③ 風疹

④ 結核

⑤ インフルエンザ・新型コロナ

①ノロウイルスが発生したら…

- 校医、園医への連絡、所管課への報告
- 家庭への連絡
- お迎えのお願い
 - 施設内で流行していることを知らせ、症状がある時は登校（園）を控えるようお願いする
- 二次感染予防
- 下痢や嘔吐などの症状がある人が多く出た場合には、早めに福祉保健センターにご相談を！



施設全体の状況確認

- ・ 児童・園児および職員の発症日時・症状・受診状況などをクラスごとにまとめる（推移表が便利）
- ・ 嘔吐や下痢のあった場所、時間の確認（施設の見取り図に落としてみる）
- ・ 以上をまとめ、施設管理者に連絡する



+



発症前1週間程度のイベントの有無
給食や食事内容の確認



福祉保健センターが調査訪問をして確認

感染拡大を防ぐためのポイント①

推移表（ラインリスト）

※磯子区感染症HPに原本あり

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q
1	感染症情報シート					報告日→	10月1日				施設名→	(例)磯子ホーム					
2						先頭のマスに日付を入力すると、1ヶ月分の日付と曜日が自動で入力されます。				新規有 症状者							
3												2					
4	No	名前	性別	フロア	検体	受診日・受診先	発症日	本人の状況	備考	日	10/1	10/2	10/3	10/4	10/5	10/6	10/7
5		年齢		部屋番号		結果	エピソード	(ADL)	(その他の 症状など)	曜日	火	水	木	金	土	日	月
6	1	〇〇 口男	男	309			食堂で嘔吐	おむつ使用		発熱							
7										嘔吐	●新規	○継続	○継続				
8		79歳								下痢		○継続	○継続				
9										他			腹痛	入院			
10	2	〇〇 口子	女	401	■クリニック			認知症	腹痛	発熱		●新規					
11										嘔吐							
12		81歳								下痢			○継続				
13										他	●新規		腹痛				
14	3	△△ 和〇	女	309			居室で嘔吐	おむつ使用		発熱							
15										嘔吐			●新規	○継続	○継続		
16		72歳								下痢			●新規	○継続			
17										他							
18	4	□□ -〇								発熱			●新規				
19										嘔吐							

ポイントは
発症日

元々何かしらの症状が出ており、その症状とは別で新しく症状がでた場合は、「○継続」の扱いとしてください。

その他に症状に関する「●新規」と記載した場合、前の備考に記載してください。

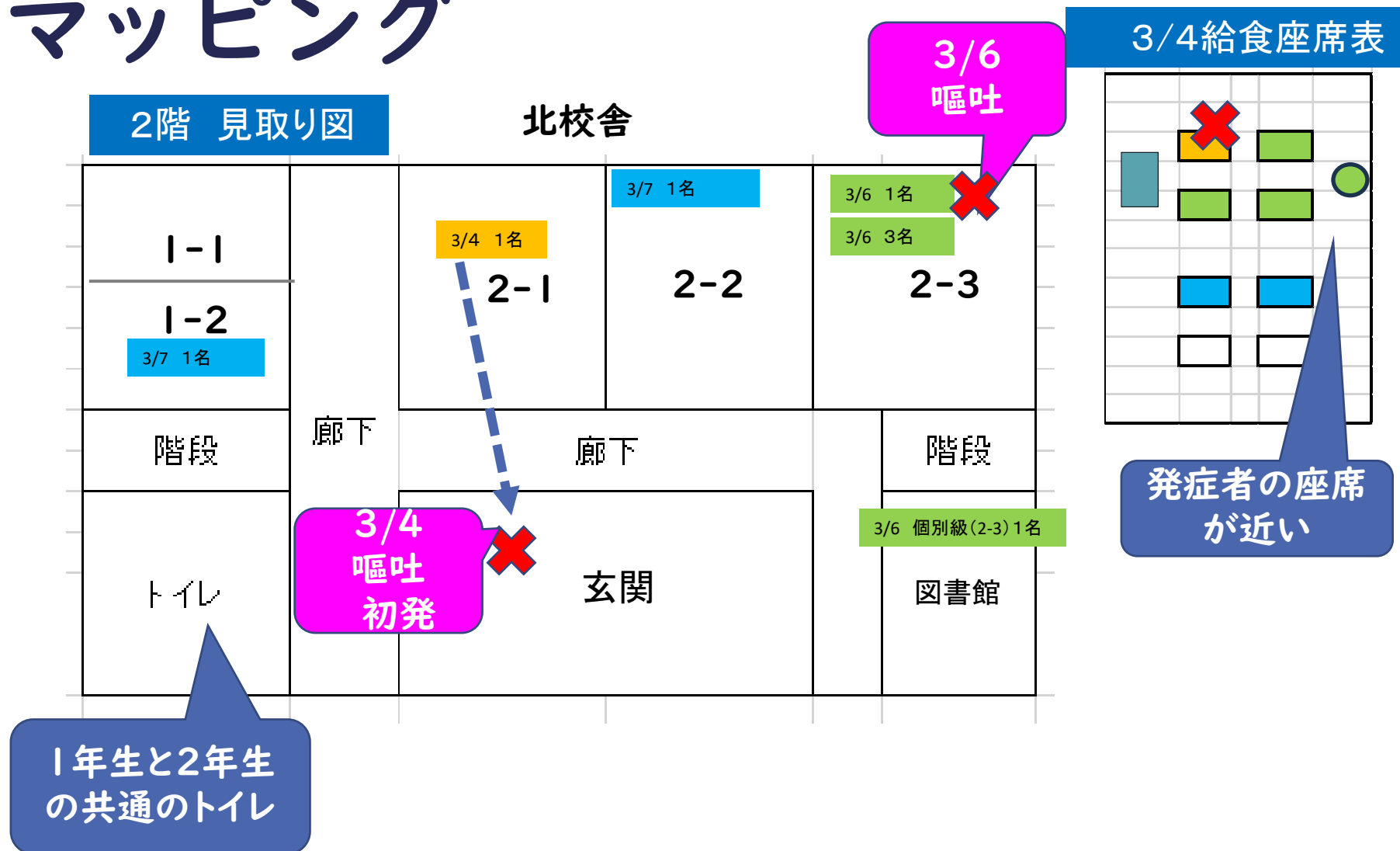
ポイントは
発症日

元々何かしらの症状が出ており、その症状とは別で新しく症状がでた場合は、「○継続」の扱いとしてください。

その他に症状に関する「●新規」と記載した場合、前の備考に記載してください。

感染拡大を防ぐためのポイント②

マッピング



感染拡大を防ぐためのポイント③

手洗いの徹底

・適切な汚物処理・消毒の実施

①身の回りのものの清潔・消毒

②汚物がついたりネン類の消毒

③おむつ交換・入浴時の対応



二次感染の防止が最大の目標です！

おぼえておこう! 正しい手の洗い方

手洗いの前に



- ・爪は普段から短く切っておきましょう
- ・時計や指輪は外しておきましょう



流水でよく手をぬらした後、石鹸をつけてしっかりと泡立て、手のひらをよくこすります。



両手の甲をのばすようにこすります。



指先、爪の間も念入りにこすります。
(ブラシを使うとなお良い)



両手の股をこすり合わせ、
指の間を洗います。



親指を付け根から指先まで、
念入りにねじり洗います。



手首を忘れずに洗います。
最後に流水で洗い流しましょう。



石鹸で洗い、十分に流水で洗い流すまで、30秒程度かけて行いましょう。
清潔なタオルやペーパータオルでよくふき取って乾かします。

手洗いでできないときは、アルコール手指消毒薬で消毒をしましょう。

- ★ **30 秒以上**かけて洗ってください。
- ★ **2回**繰り返すのがより効果的です。
- ★ 石けんを **よく泡立てて**、こすりつけるように洗う
- ★ **腕時計を外して**洗います

感染拡大を防ぐためのポイント④

手袋の着脱

着脱の前後に手指衛生を！ 手袋をつけっぱなしにしない！



汚物等処理セットの用意を



ノロセット

- ・塩素系漂白剤
(次亜塩素酸ナトリウム)

***誤飲のないよう配置場所には注意が必要です**

- ・使い捨てマスク・手袋・エプロン
- ・ビニール袋
- ・ペーパータオル、新聞紙など
- ・希釈用器具 (ペットボトル・バケツ)
- ・手洗い用石鹸

日ごろからの準備が大切です!

職員間の場所の共有も忘れずに。

汚物処理・消毒のポイント

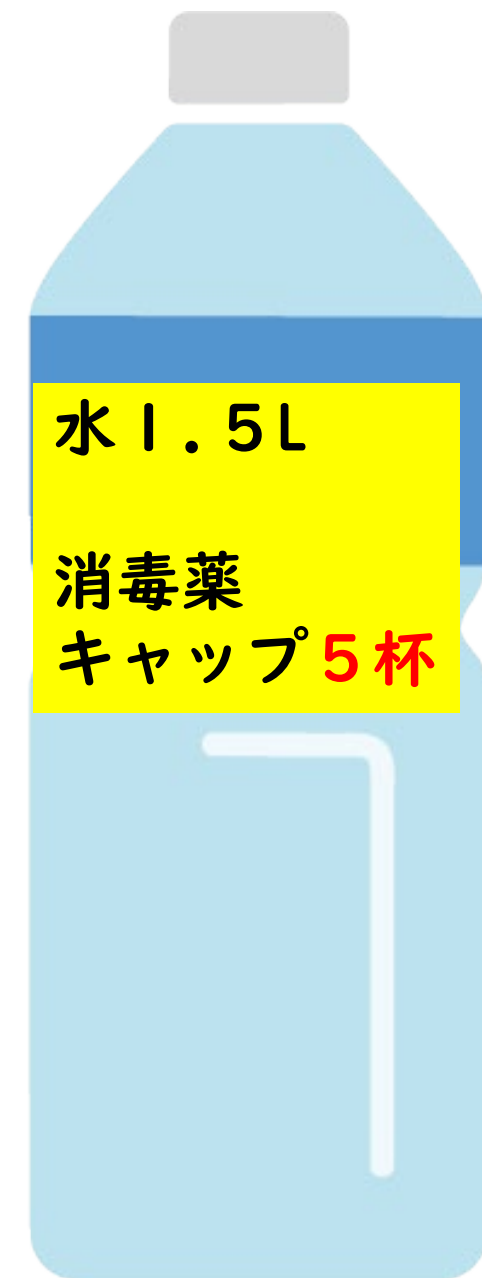
		希釈液濃度			
		0.02%(200ppm)		0.1%(1000ppm)	
		希釈方法		希釈方法	
原液濃度	1%	50倍	水1L+原液20mL	10倍	水1L+原液110mL
	5%	250倍	水1L+原液4mL	50倍	水1L+原液20mL
	6%	300倍	水1L+原液3.3mL	60倍	水1L+原液17mL
使用場所		器具等のつけ置き、ドアノブ、手すり等		便や吐物が付着した床やおむつ等	

※市販の塩素系消毒剤は5～6%が多い

いつも同じ商品を使うなら、
誰でも分かる作り方を明示

あらかじめ希釈する方法を
書いておきましょう

作り置きはしない。
日に当てないこと



拡大防止消毒ポイント 『トイレ』

手すりなど
人の手が触れる所

便座、便器周囲
便器周辺の床



拡大防止消毒ポイント 『トイレ』 『人が触れるところ』



ペーパーホルダー



スイッチ類



ドアノブ

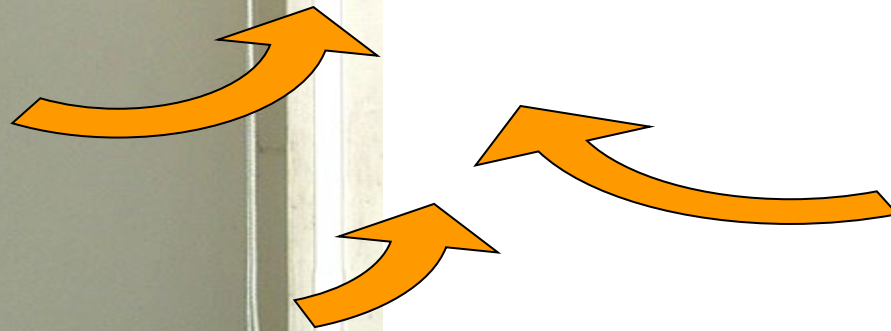


水道蛇口



水洗ノブ

換気の実施（とても有効です）



ウイルスが外に出て行くように、
空気の流れを作りましょう。

I 集団発生時の対応のポイント

II 報告時の流れ

III 各論

① ノロウイルス

② 麻しん

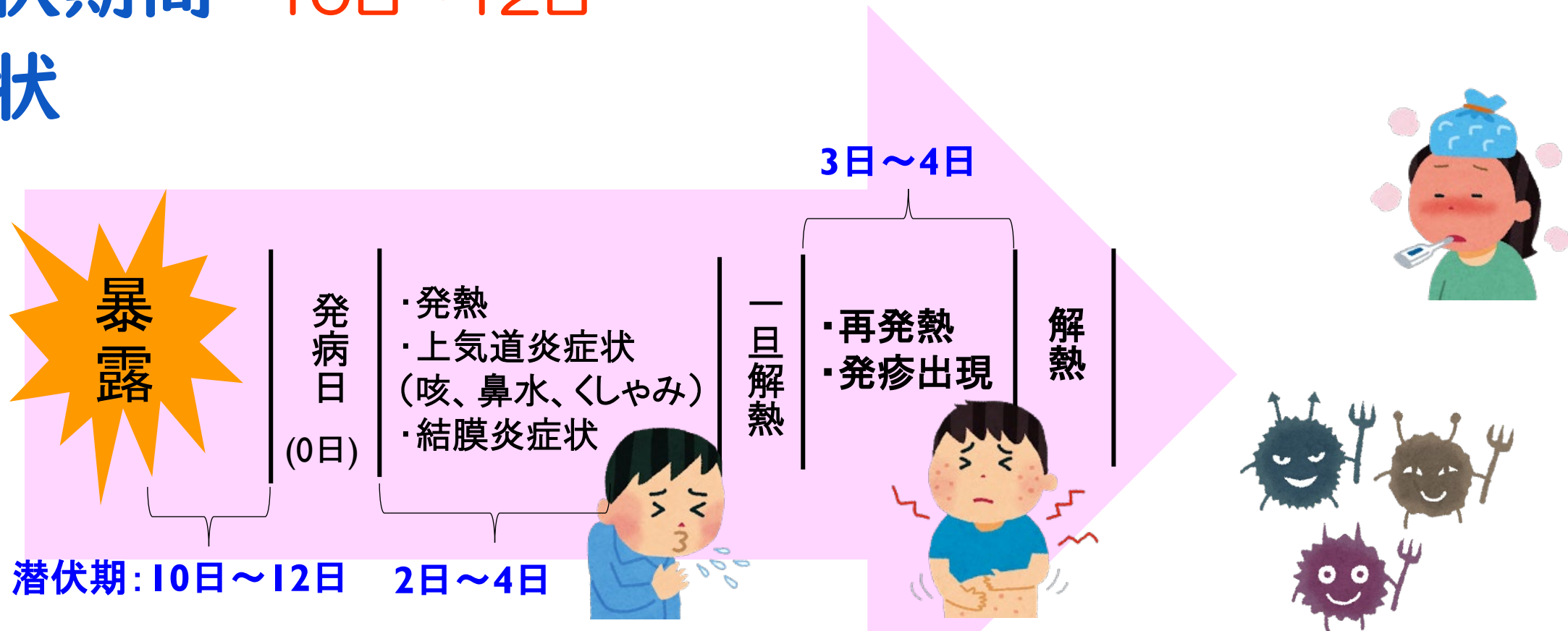
③ 風しん

④ 結核

⑤ インフルエンザ・新型コロナ

② 麻疹について

- ・感染経路 ・飛沫感染 ・接触感染 ・飛沫核感染（空気感染）
- ・潜伏期間 10日～12日
- ・症状



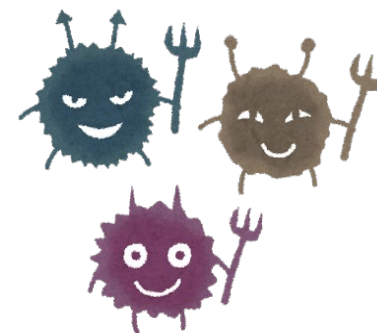
なぜ「麻しん!」は対応をいそぐのか?

• 感染力がとても強い

免疫がない集団に1人の発症者

→12~14人の人が感染

＊保育園、学校などで発生すると拡がりやすい



• 重症な疾患

例) 高熱が1週間続く 咽頭痛がひどく食事がとれない

＊特異的な治療法はなく、対処療法

予防接種が大切(2回)



麻しんの届け出があったら



- 罹患者や予防接種歴の把握

接触者の中で免疫のない人がいないか（接種率）

→免疫が十分ないと2週間以内に95%以上が発症

- 患者さん本人の症状経過や行動調査

いつから症状があったのか

いつまで登校（園）していたのか

- 接触者の健康調査（2週間程度）

有症状者の早期発見と受診勧奨

→毎朝熱を測り、37.5度以上の場合は欠席し、

医療機関受診を勧める

福祉保健センターの調査にご協力をお願いします 29

I 集団発生時の対応のポイント

II 報告時の流れ

III 各論

① ノロウイルス

② 麻疹

③ 風しん

④ 結核

⑤ インフルエンザ・新型コロナ

③ 風疹について

- ・感染経路 飛沫感染
- ・潜伏期間 14日～21日（平均16～18日）
- ・症状 発熱（約半数程度）・発疹・リンパ節腫脹（耳介部、後頭部、頸部、



→子どもは軽症なことが多いが、**妊娠初期の妊婦が感染すると先天性風しん症候群**の児が出生する可能性がある

- ・治療法 特異的な治療法はなく、対処療法
- 予防接種が大切**



予防接種を受けましょう

I 期：12か月～24か月未満

II 期：5歳～7歳未満で

小学校入学1年前の4月1日～
入学する年の3月31日まで

V期：S37年4月2日～S54年4月1日まで
に生まれた男性

→無料、抗体検査の結果、MRワクチン
接種。クーポン券送付あり

【参考】横浜市風疹対策事業について
第5期とは別に実施しています。

【参考】

横浜市民の皆様へ

令和6年度版

風しんの予防接種と抗体検査 を実施しています！

横浜市では、風しんの流行と「先天性風しん症候群」の発生を防止するため
「横浜市風しん対策事業」として風しんの予防接種と抗体検査を実施しています。



【対象者】 この事業を利用したことがない中学1年生以上の横浜市民で、



- 1 妊娠を希望している女性
- 2 妊娠を希望している女性のパートナー及び同居家族
- 3 妊婦のパートナー及び同居家族

※1 「麻しん風しん混合(MR)ワクチン」、「風しん単独ワクチン」又は「麻しん・風しん・ムンプス混合(MMR)」
の接種歴が合計2回以上ある方は対象になりません。

※2 横浜市風しん対策事業のご利用は一度限りです。(平成27年度以降に風しん対策事業を利用した後、再度の利用はできません。)

※3 妊娠中は接種できません。また、パートナーとの婚姻関係は問いません。

※4 未成年者の場合は、原則として保護者の同伴をお願いします。

【実施期間】 通年(令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで)

【内 容】 予防接種：麻しん風しん混合ワクチン 1回
3,300円(税込)

抗体検査：風しん抗体検査(血液検査) 1回

I 集団発生時の対応のポイント

II 報告時の流れ

III 各論

① ノロウイルス

② 麻疹

③ 風疹

④ 結核

⑤ インフルエンザ・新型コロナ

④結核 が発生したら…

〈接触者健診の実施〉

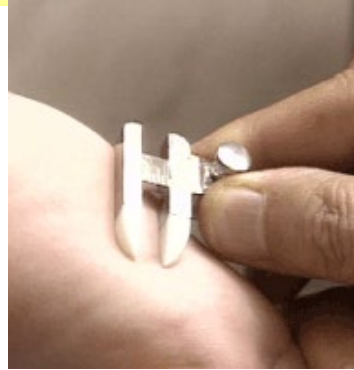
- ・患者の感染力と接触状況などから福祉保健センターが検討
→いつ、どこで、どれくらいの時間？
どのような接点だったか？など

★入院？外来？菌検査結果によって異なります。
慌てずに…

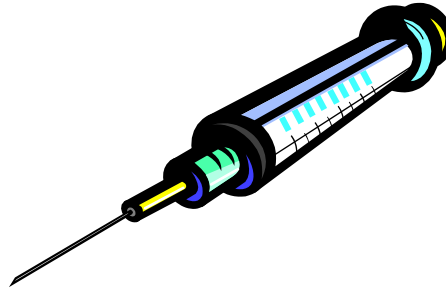


感染 または 発病 していないか 調べる検査

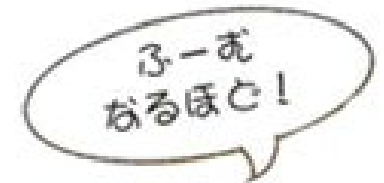
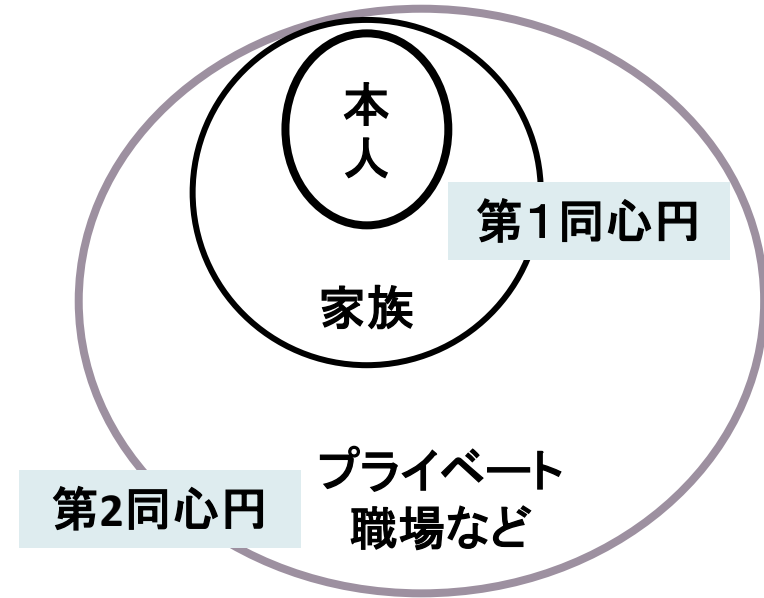
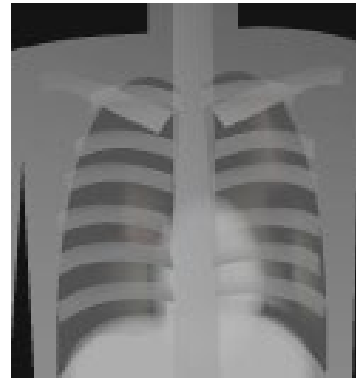
• ツベルクリン反応検査



• T-spot検査



• 胸部X線検査



I 集団発生時の対応のポイント

II 報告時の流れ

III 各論

① ノロウイルス

② 麻疹

③ 風疹

④ 結核

⑤ インフルエンザ・新型コロナ

⑤インフルエンザ・コロナウイルス

【感染拡大予防対策】

- ・手洗い、うがいの励行
- ・咳エチケット
- ・室内の換気
- ・室内の湿度管理
- ・アルコール、次亜塩素酸ナトリウムでの環境消毒
- ・有症状時の速やかな医療機関受診

⑤ インフルエンザ 学級閉鎖

国に報告。
流行状況の把握と
今後の防疫対策
の基礎資料
になります。

学級閉鎖・学年閉鎖・休校をする場合
→福祉保健センターにご報告をお願いします

***区内で最初の閉鎖の場合**

発症後3日以内の患者さん**5名程度**の
鼻かみ検体、うがい液 の採取



インフルエンザ報告方法

■ 保育園 → 「感染症等発生報告書」の提出

■ 幼稚園、学校などで学級閉鎖等を行う場合
→ 様式1: 「インフルエンザ様疾患発生報告」を
管轄部署（教育委員会など）
& 健康づくり係

メールまたはFAX

措置決定後速やかに（原則午前12時まで）に

～施設内での共有していただきたいこと～

■ 嘔吐物処理方法の動画

「保土ヶ谷区 吐物処理」や「東京都 吐物処理」などで検索



保土ヶ谷 吐物処理



■ ノロウイルス、インフルエンザのパンフレットの配布

※枚数に限りがありますので、ご希望の枚数をご用意できない場合があります。

■ 手洗いチェッカーの貸出し (予約:健康づくり係 750-2445)

